

2014年5月16日

常磐線湯本駅に副駅名称を導入します

JR東日本水戸支社では、常磐線湯本駅において実施される駅リニューアルに合わせ、副駅名称を導入します。湯本駅がいわき湯本温泉郷の玄関口であることを広く知って頂き、街のイメージアップを図るといふ地域の意向に応えるべく、公募で選出した名称を駅名標に表示し、地域の皆さま、観光に訪れたお客さま双方に親しまれる魅力ある駅づくりを目指します。

(※副駅名称…ホーム駅名標に、地元PRとなるキーワードを表示させるもの)

1 実施経緯・目的

- 湯本最大の観光資源である「いわき湯本温泉郷」を広く知って頂くことで多くのお客さまにお越し頂き、街のイメージアップを図ることを目的とする。
- 駅名標という視認性の高い盤面を活用することで、PR効果が期待できる。
- 当社にとって以下の効果が期待でき、地元からの要望を受け協力して実施することとした。
 - ①旅客サービス向上 (湯本駅が観光拠点であることを分かりやすくお伝えできる)
 - ②沿線価値向上 (街のイメージアップ)
 - ③当社経営方針に沿った施策の実現
(「地域との連携」を目指し地元愛される駅づくりを進める)

2 実施概要

- 実施主体 一般社団法人いわき観光まちづくりビューロー
【公募窓口】TEL:0246-44-6545
- 実施方法 公募で選定。別途実施主体より募集告知あり。
- 実施時期 2015年3月の新駅舎使用開始(予定)時より表示

《表示イメージ》

(○○○○)の部分に表示

※実際のデザインは、写真と異なる場合があります

